

様式 4

| <p style="text-align: center;">令和元年度第 4 回<br/>富士見市総合計画審議会<br/>議事録</p> |  |                                     |       |              |      |      |
|---|--|-------------------------------------|-------|--------------|------|------|
| 日 時   | 令和元年 1 1 月 2 1 日 (木)   |                                     | 開会    | 午後 7 時 0 0 分 |      |      |
|   |  |                                     | 閉会    | 午後 8 時 4 5 分 |      |      |
| 場 所   | 富士見市役所 2 階 市長公室  |                                     |       |              |      |      |
| 出席者   | 委 員  | 今井会長                                | 岩田副会長 | 久米原委員        | 小林委員 | 寺田委員 |
|   |  | ○                                   | ○     | ○            | ○    | ○    |
|   |  | 中委員                                 | 仲田委員  | 三上委員         | 山本委員 | 横山委員 |
|   |  | ○                                   | ○     | ○            | ○    | ○    |
|   |  | 吉原委員                                | 渡辺委員  |              |      |      |
|   | ○  | ○                                   |       |              |      |      |
|   | 事務局  | 総合政策部 水口部長<br>政策企画課 濱島課長、斎藤副課長、甲佐主査 |       |              |      |      |
| 公開・<br>非公開  | 公開 (傍聴者なし)   |                                     |       |              |      |      |
| 議 題   | <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 審議事項</p> <p style="margin-left: 20px;">①総合計画の概要及び基本構想素案について</p> <p style="margin-left: 20px;">②理想の“未来”への合言葉について</p> <p>4 その他</p> <p style="margin-left: 20px;">第 5 回以降の日程調整について</p> <p>5 閉 会</p> |                                     |       |              |      |      |

## 議 事 内 容

1 開会 政策企画課長

2 あいさつ 会長

3 審議事項

①総合計画の概要及び基本構想素案について

会長：次第に則り、議事を進めていく。「①総合計画の概要及び基本構想素案について」「②理想の“未来”への合言葉について」、事務局より説明をお願いしたい。

事務局：(説明。約 25 分)

会長：今回は全体の分量が多いので、論点を明確にするためにポイントを絞って、議論を進めていきたい。御意見・御質問等があれば、お願いしたい。

委員：「1 はじめに」の3つ目の◆に「今後の“まちづくり”においては、人口減少・少子高齢化やさらなる技術革新により、時代の変化は、ますます大きくなる」とあるが、人口減少、少子高齢化、技術革新だけが原因なのだろうか。「～により」という表現に違和感がある。多様性も含めて、もう少しいろいろな要素が時代の変化の中にはあるのではないか。ここをもう少し膨らませてはどうか。

委員：直接的な関係はないという前提で伺いたい。ここにサステイナブル、「持続可能な」という言葉がよく出てくるが、SDGs に沿って、ある程度は考えていくということか。

事務局：SDGs の観点もこの総合計画には含んでいくことを考えている。次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も今回の基本計画に一体化して含んで考えていくことになっている。この次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中にはSDGs の考え方も入っているので、総合計画の中には、そこを意識して「持続可能」という表現は出している。

委員：そうすると、世界的な視野から見て17項目の目標というものがあるが、そこに準じた部分も入ってくるのか。

事務局：国連が定めている17のゴールに直接は関わるわけではないが、我々が行う事業・施策において、そういう考え方が最終的にはつながることを示していければと思う。

委員：第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも審議会があると思うが、

そこと一体化していくのか。

事務局：「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は平成 27 年度から始まり、令和元年度で終わるが、この総合計画に一体化させるため、創生総合戦略を 1 年延長することにした。1 年延長し、今までの課題を整理し、事業が進展していないところに注力し、更なる推進を目指して、総合計画と一本化し、審議会も一体化する予定である。

委員：審議会で決めたことが基本構想の素案になっていくということか。あまり具体的なことは素案には載せないのか。

事務局：現在、作成しているのは基本構想であり、20 年後のあるべき姿や都市像を議論いただいている。年明けは基本計画を考えていただく。充実した日々になるためには、どんな施策や事業が必要なのか、市民と行政はどういうことをしていかなければいけないのか、その計画を今後は皆様で策定していただく。

委員：その審議については次の段階か。

事務局：そうである。基本構想を策定していただき、その素案が出来たら、次にどういう行動をとるべきか、どういう事業をしていくべきか、まちはどうあるべきか、その計画を基本計画として審議するという順になる。

委員：先日のワークショップに出席して、いろいろ意見が出ていた中では、7 ページ下のイメージ図が理解されていない印象だった。矢印が上に向かって伸びているが、一方通行でよいのか、また、1 つ 1 つドーナツ形になっているが重なる部分があるのではないかと、という意見があった。つまり、丸い円が重なり合うような図で、共通の課題があるほうがイメージに合っているという意見だった。図の改善や、文章表現の変更等を検討してはいかがか。

会長：私もこのイメージ図がどういう視点で作られたのか不明確で、わかりづらく感じた。事務局でイメージ図の意図を説明していただければと思う。

事務局：「充実した日々」というのが「理想の未来」とであると設定した。

充実した日々は何なのかといったときに、大きく 3 つの要素から成り立っていると考えた。

まず、1 点目が個人、一人ひとりの視点からその人自身が喜びや成長を感じられるような「実りある暮らし」が一番小さな範囲であると考えた。

次に、周りにいる人も含めた、地域やコミュニティといったもう少し広い領域で充実した暮らしができる必要があると考え、それが「充たされたつながり」と 2 番目に大きな円になっている。ここでは、人とのつながりで安心や安らぎを感じたり、さまざまな人々が受け入れられるつながりがあると充実した日々につながると考えた。

3 点目は、そういうひとりひとりや、地域やコミュニティを含む、より大き

な円として生活環境というものがあると考えた。具体的には、富士見市は、都心にも近くて利便性が高いが、緑にもあふれていて、この「恵まれた生活環境」となる。

物理的にも、個人から地域、生活環境へと広がっていく、包み込むという形で、下にいくにつれて円が大きくなっている。3つ見やすいように分けているが、実際は1つの円に収まるような形で、暮らし・つながり・生活環境が同心円で相互に作用し合っているということをイメージしている。それがわかるよう「各要素が相互に作用することにより」と記述している。

矢印については、時代の変化や環境の変化が出てくる中で、まちとしても成長を続ける必要があり、それによって、市外からも新しい方々がまちに来て、さらに仕事生まれ、3つの要素がさらに成長し充実していくことで、下からの成長がまちとしての富士見市を押し上げるイメージがあって、下から上に向かう矢印がある。

委員：考え方はよいが、矢印の形の問題かと思う。これが単に直線ではなく、山型の矢印であれば全体から押し上げられると視覚的にとらえられる要素もある。矢印が細いと一方通行というイメージが大きいので、視覚的な要素を取り入れるほうがよいと思う。

委員：市民ワークショップの意見を聞くと、成長の継続が上の3つを押し上げるというイメージを持ちづらいのだと思う。また、ドーナツ形になっているものが、上から押し付けられるとびったり重なり合って、ロールケーキみたいになっているということであれば、間が空いているとイメージしづらいのではないか。

委員：「成長の継続」だけが形が違う。これも同じ円にしたほうが一体化するのではないか。また、「充実した日々」が20年後のゴールなので、そのまま目標を書くと格好悪い気がするので、そこに向かっていくというイメージがあったほうがよい。

委員：「成長の継続」が一番の土台になっているとみてよいのか。それがないと何も始まらないような意味合いに見えてしまう。成長の継続が矢印全体を指すのならば、それがただ基盤になっている図だとわかりづらいかと思う。また、円が独立しているので、そのあたりが初見ではわかりづらい。

委員：「充実した日々」イコール「成長の継続」になると思うので、「成長の継続」が一番下にあるのはどうかと思う。

委員：イメージ図は大した意味を持たないと思う。8ページに書かれていることが表現し直されているだけなので、ここに意味がこもっていようがいまいが関係ないと思う。ここが丸であろうが四角であろうが、暮らしとつながりと生活環境が充実して、成長が継続して、「充実した日々」につながるという話なのかと思う。

委員：ワークショップでもこの図が理解できないという話が出た。この3つの輪が、どういう関係で、どこに接点があるのか、単独にバラバラになっているからわかりづらいのではないか。リンクされているような図だと、それぞれ関わり合って「充実した日々」になる、というイメージになるのではないか。輪の大きさも、「実りある暮らし」の個人の部分が一番小さいが、一番大切なのは個人ではないか。説明があったが、図というのは概念が一目でわかるものであるべきだと思う。

委員：イメージ図と8ページの中身とでは順番が逆なのではないか。8ページでは「実りある暮らし」「充たされたつながり」「恵まれた生活環境」があって、「“まち”のさらなる充実のために」「成長の継続」があるので、イメージ図とやっていることが逆になると思う。だからこそイメージ図と実際の説明とでギャップを感じる。

委員：イメージ図の「成長の継続」とは何が成長するのか初めはわからなかった。上の文章に『成長の継続』が力強く“まち”全体を押し上げる」と書かれており、暮らしとつながりと生活環境が“まち”なのだととらえた。それで、8ページに行くと「まちの経済が潤い、その潤いがさらなる成長を生み出していく」とあり、まちが潤うから成長していく、それが継続的であると考えれば、「成長の継続」とは何が成長していくのかということ、暮らし・つながり・生活環境そのものが成長していくことなのかと思う。まちが成長を継続していくと考えれば、成長の継続が別物に見えてしまうのがいけないのだと思った。暮らし・つながり・生活環境それぞれが成長を続けていくということが、結果として充実した日々につながっていくのではないか。

委員：8ページ「恵まれた生活環境」の一番下、「◇私たちの生活環境が充実することにより、誰にとっても住みやすく・住みたい・住み続けたい“まち”となることを目指します」とあるが、文章表現の問題かもしれないが、「住みたいまち」「住み続けたいまち」というのは文章としてつながるが、「住みやすくまち」とはつながりが悪い。また、住みたいと思うまちがあるから住んでみた、住んでみたら住みやすいまちだから住み続けたいと考えたら、「住みやすく」は「住みやすい」という言葉に変えて、順序としても「住みたい・住みやすい・住み続けたい」というように、時系列に考えるとそういう流れになると思う。

委員：住みやすいから住みたいと思うのではないか。順番は難しい。住んでみてから住みやすいと思うだろうか。

会長：いろいろな意見があるが、ただ「住みやすく」ではなく「住みやすい」のほうがよいと言えると思う。

委員：8ページ「(2) “まち”のさらなる充実のために」のところで、「成長の継続」の1つ目「◇まちの経済が潤い、その潤いがさらなる成長を生み出してい

く活力のある“まちづくり”により、さらなる充実を目指します」とあるが、「さらなる」が1文に2回出てくるので、表現を変えるほうがよいと思う。

委員：8ページが一番下、「これまでの歴史を継承し、地の利や新たに加わる力も活かすことで」とあるが、それは何を指しているのか気になった。

事務局：「新たに加わる力」の具体的な内容としては、富士見市にお住まいでない方が将来富士見市に住むようになり、その方がほかの地域で培ってきた知見や見方を取り入れることによって、まちのさらなる充実に結び付けていくことを念頭に置いている。

委員：「恵まれた生活環境」の3つ目の◇のところで、「住み続けたい“まち”となることを目指します」とあるが、1つ目、2つ目と“まち”を目指します」と続いているのに、ここだけ「～となることを」が入っているので、不統一な感じがする。

会長：それでは議題「②理想の“未来”への合言葉について」へ移る。事務局から、これが誰のためなのかという目的を再検討してご提示するというお話だったが、それ以外のことで御質問、御意見があれば伺いたい。

委員：今はまだ始めなので、どんどん楽しいものが出ているが、現実の中に裏打ちされたものがどれくらいあるのかと思った。単純に夢だけのキャッチコピーなのか、現実を語った上でのキャッチコピーなのか、気になった。

委員：この合言葉は最終的にどこでどうやって決められるのか。今こういう案が出ていて、どこで諮って決められるのかわからないので、意見のしようがない。これだと、検討委員会、総合計画審議会、ワークショップではこういう案が出てきた、と書いてあるだけで、その先が見えない。予定はどうなっているのか。

事務局：今回、庁内検討委員会、審議会、ワークショップでは何も条件を提示せずに提出いただいた。今後は、事務局で、こういった傾向が強いメッセージが多いのか、誰に発しているメッセージが多いのか、誰に向けることが合言葉として適当なのかを整理をし、5つ程度の案に絞り、その後に審議会、庁内委員会、ワークショップ等で、投票で決めるのも1つのやり方かと考えている。詳細は未定だが、少なくとも審議会の皆様からご意見をいただいた上での決定といった流れは組みたい。

会長：それでは、今日のご意見を参考にしていただき、次回提示していただければ有り難い。では「4 その他」について、事務局から説明をお願いしたい。

#### 4 その他

事務局：次回の総合計画審議会の日程は、審議会開始前にご提出いただいた「総

合計画審議会の日程について」で集計を取った結果、1月30日（木）に開催させていただきます。

会長：以上で本日の議事を終了する。

5 閉会                    政策企画課長